

### 外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2391200165
事業所名	グループホームたのしい家鶴里

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 地域の一員として公民会に入会している。回覧版や書面での運営推進会議で地域情報を得ている。コロナ禍において、外出や外部からの訪問が規制され、認知症カフェや音楽療法、体操などが自粛しているため、以前のような地域交流や行事参加は難しい状況にある。感染状況を確認し、地域の公園に出かけたり、桜並木を見て四季の風情をが楽しめるようにしている。日々の散歩をする中で、地域の方と挨拶を交わし人との関りを忘れないようにしている。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 今年度も、コロナ禍において運営推進会議は書面開催としている。関係者へ事前に資料を配布し、聴取した意見を検討し、運営やサービスに活かしている。身体拘束適正化委員会や入居者の状況報告、行事やサービス内容などについて協議をし、議事録は家族や関係者、包括支援センターに送付している。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 認定書類や申請代行業務等必要な業務には市の担当窓口へ直接出向き、業務を行うと共に情報交換をしている。コロナ禍にあるため、主に電話やメールを利用して事業所の状況やケアの取り組みを説明し、疑義照会なども行い連携に努めている。名古屋市介護ネットを定期的に確認し、指示や指導に従い業務に反映させている。新型コロナ感染予防のため、研修はリモートで行っている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 入居者からは日々の暮らしの中で、思いや要望を聞き、記録して職員間で話し合いケアにつなげている。家族からは、届け物や面会時の折に聞いたり、電話やメールなどで意見や要望を聞き、運営に反映させている。意見箱を設置し、自由に意見が述べられる環境を整えている。家族向けのホーム便りを毎月発行し、家族へ安心を届けている。コロナ感染症の状況を確認しながら、今後、ドライブでの花見や街並みの散歩などに出かける心づもりにしている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		◎

【備考欄】

コロナ禍での介護を取り巻く社会情勢や事業所の状況をいち早く掴み、地域との関り、緊急時や災害時に備えるの対応を目標達成計画に挙げ、実施に向けた取り組みを始めている。

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	◎	○	◎								